

令和7年度子どもの居場所運營業務委託評価基準

区分	評価項目	評価基準	評価の視点	配点
一次審査	業務信頼性	同種業務の実績等から、参加希望者は本業務の実施遂行能力があるか	・過去3年間に元請で同種業務の実績が十分にあること	10点
	取組体制	配置予定人員等、十分な組織取組体制であるか	・組織全体で取組む体制が確保できているか ・本町との打ち合わせ、事故が起きた場合の対応等に迅速・機動的な体制が図られているか	10点
		配置予定統括マネージャー（責任者）について、十分な実績・能力があるか	・統括マネージャーの立場で従事した同種の業務実績があるか ・本町の児童福祉について、知見を有し、業務実績のある人員を配置しているか	10点
二次審査	取組意欲	業務の趣旨を理解し、積極的に取組む姿勢があるか	・プレゼンテーション及びヒアリングに対する説明力、対応力、取組意欲・姿勢等を総合的に評価する	10点
	企画提案内容	課題1 愛南町の児童福祉に関する課題やニーズについて	・愛南町の児童福祉における課題や対策を考えられているか ・子どもや家庭が抱える困りごとや課題を理解し、対応方法が考えられているか	50点
		課題2 児童が安心して過ごせる居場所の適切な環境管理について	・安全・安心な居場所の提供について、見守り体制や環境管理が十分に行える体制が提案できているか	
		課題3 基本的な生活習慣等定着のための支援について	・基本的な生活・学習習慣の習得について、対象児童とそれを取り巻く環境を考慮した内容が提案できているか	
		課題4 町内の子育て支援団体、事業との連携について	・町内の子育て支援団体、子育て支援事業との連携について体験活動の提供、保護者や対象児童の相談支援等を含めて幅広く展開できているか	
提案価格	十分な業務実施体制を確立した上での価格となっているか	・事業に必要な経費が効果的な実施に配慮した形で計上されているか	10点	